

岩手県企業短期経済観測調査結果（2009年9月）

調査対象企業数 62 社：回答数 62 社（製造業 25 社、非製造業 37 社）、回収率 100%
回答期間：8月下旬～9月下旬

1. 業況判断

調査対象先の業況判断指数（D.I.）は、製造業、非製造業とも改善した。先行きについては、製造業が横ばい、非製造業が悪化の予測。

業種別にみると、製造業では、販売価格の下落から食料品が悪化したが、受注の持ち直しから電気機械、精密機械が、また、仕入価格の下落による収益改善から紙パなどが改善したため、全体では「悪い」超が大幅に縮小した（前回 52 今回 28）。先行きについては、輸送用機械が改善するが、食料品が悪化するため、全体では横ばいの予測（ 28 予測 28）。

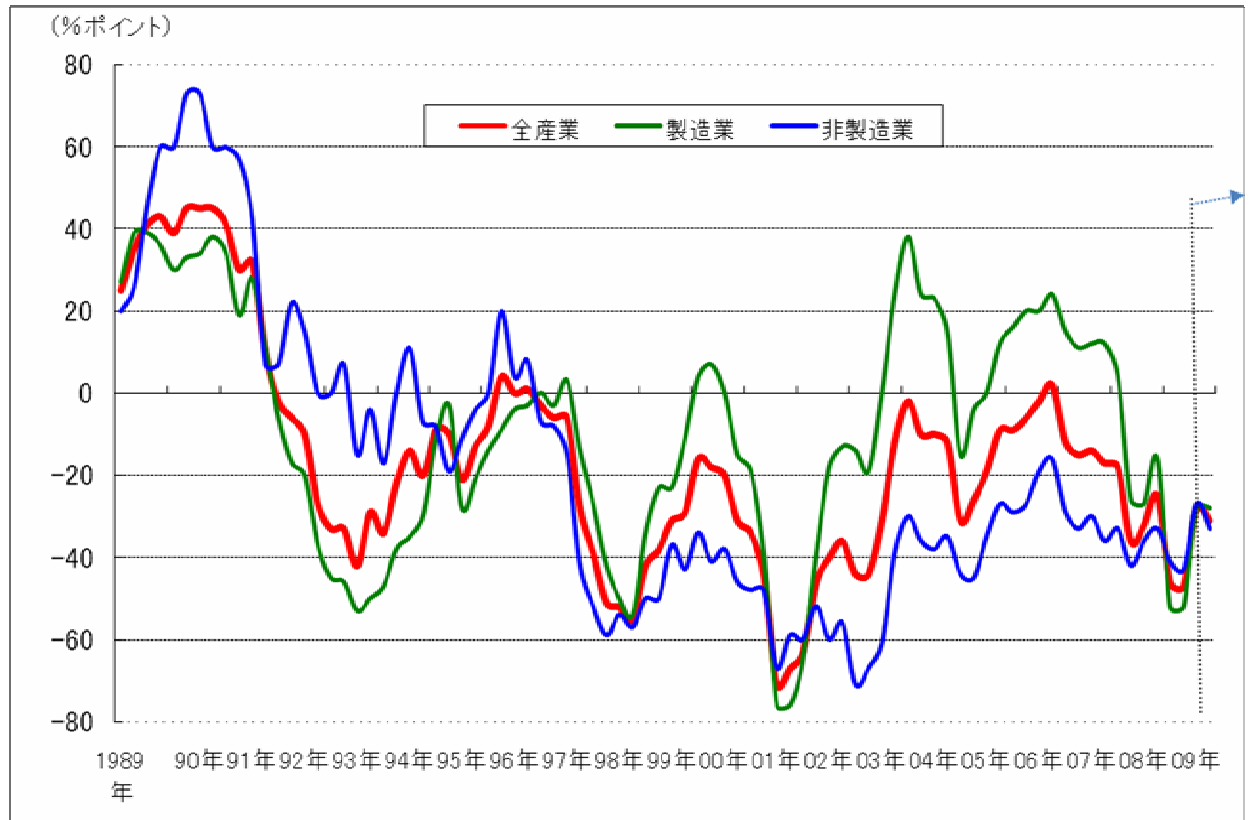
非製造業では、ETC 割引の影響による高速バス利用者の減少から、運輸が悪化したが、補正予算執行に伴う公共工事の増加から建設が、ETC 割引効果による入込客数の増加などから飲食・宿泊、サービスが、さらに、経営合理化効果などから情報通信、電気・ガスが改善したため、全体では「悪い」超幅が大幅に縮小した（前回 43 今回 27）。先行きについては、新型インフルエンザ拡大への懸念から、飲食・宿泊が悪化するため、全体では悪化の予測（ 27 予測 33）。

（業況判断 D.I. の推移）

（「良い」 - 「悪い」）回答社数の構成比、%ポイント。（ ）内は前回予測。

	08/6月	9月	12月	09/3月	6月	9月	12月 (予測)
製造業	26	27	16	52	52	28 (48)	28
素材業種	57	57	0	50	67	33 (50)	33
加工業種	16	15	21	53	48	26 (47)	27
食料品	20	20	20	20	20	0 (0)	20
電気機械	67	50	50	67	33	0 (33)	0
非製造業	42	36	33	41	43	27 (43)	33
建設	50	40	20	33	40	26 (40)	26
卸・小売	29	14	29	71	57	57 (43)	57
全産業	36	32	25	46	47	28 (45)	31

〔図〕業況判断D.I.の推移



(参考) 東北地区(6県)及び全国の業況判断D.I.の推移 ()内は前回予測。

		08/6月	9月	12月	09/3月	6月	9月	12月 (予測)
製造業	岩手	26	27	16	52	52	28 (48)	28
	東北	12	16	30	60	51	40 (36)	31
	全国	3	11	25	57	55	43 (44)	35
非製造業	岩手	42	36	33	41	43	27 (43)	33
	東北	33	34	37	46	47	34 (43)	38
	全国	10	16	23	38	39	33 (37)	33
全産業	岩手	36	32	25	46	47	28 (45)	31
	東北	24	27	34	52	49	36 (40)	36
	全国	7	14	24	46	45	38 (41)	34

2. 売上高・収益（2009年度計画）等

2009年度の売上高、経常利益は、製造業が減収黒字転化、非製造業が減収増益の計画。製造業では、最終消費の回復に時間がかかるとの見通しから、売上は減収、経常利益は、在庫調整の進展や経営効率化の推進によるコスト削減から黒字転化の計画。非製造業は、民間需要の低迷から減収ながら、経費削減策の奏効などから増益の計画。

前回6月調査比では、製造業の経常利益は大幅な上方修正となったが、非製造業は下方修正。

（売上高・経常利益）

上段：前年同期比・%、下段（ ）：前回調査比修正率・%

	2008年度 (実績)		2009年度 (計画)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	19.4	欠損	11.5	25.6	9.7	利益	8.3倍	利益
			(0.2)	(11.4)	(9.8)	(2.1倍)	(4.9倍)	(21.4)
素材業種	2.3	欠損	12.3	14.9	9.7	利益	利益	6.1倍
			(6.7)	(6.0)	(7.4)	(30.4)	(10.7)	(56.7)
加工業種	20.0	欠損	11.5	26.0	10.7	利益	3.8倍	利益
			(0.1)	(12.3)	(9.9)	(2.8倍)	(7.8倍)	(5.5)
非製造業	3.5	39.3	9.8	8.8	10.4	30.8	欠損	27.1
			(3.2)	(4.7)	(2.1)	(16.9)	()	(10.9)
建設	1.8	46.3	17.6	13.4	19.7	25.7	欠損	19.3
			(1.8)	(2.1)	(1.7)	(12.1)	()	(4.4)
卸・小売	5.3	17.8	4.5	8.1	1.1	19.6	欠損	1.0
			(4.6)	(6.3)	(3.1)	(37.1)	()	(3.8)
全産業	14.0	欠損	10.8	20.5	0.2	利益	利益	利益
			(1.4)	(5.2)	(6.7)	(34.7)	(13.2倍)	(14.1)

製商品・サービス需給判断（D.I.、全産業）は「供給」超幅が縮小、製商品在庫判断（同）も「過大」超幅が縮小。この間、仕入価格判断（同）は「上昇」超に転化、販売価格判断（同）は「下落」超幅が縮小。

（判断D.I.）

全産業ベース、回答社数の構成比、%ポイント

		08/6月	9月	12月	09/3月	6月	9月	12月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」 「供給超過」	40	44	46	54	46	43 (49)	47
製商品在庫	「過大超過」 「不足超過」	14	13	17	20	17	15 ()	
仕入価格	「上昇」 「下落」	65	60	16	3	13	7 (5)	5
販売価格	「上昇」 「下落」	1	5	13	31	35	32(35)	40

3. 設備投資額（2009年度計画）等

2009年度の設備投資計画（ソフトウェア投資を除く）は、製造業が前年度比4割の減少、非製造業が前年度比6%の減少。製造業では、受注低迷の長期化を懸念して投資案件を絞り込む動きが広がっており、2年連続の大幅減少の計画。一方、非製造業では、デジタル放送対応から情報通信が前年度を大幅に上回る計画となっているが、建設、卸・小売、サービスなどを中心に慎重なスタンスの先が多く、全体では前年度を下回る計画。

前回調査比では、非製造業は横ばい、製造業は収益が多少改善してきた加工業種を中心に、抑制していた更新投資などに踏み切る動きがみられ、上方修正。

（設備投資額[ソフトウェア投資を除く]） 上段：前年同期比・%、下段（ ）：前回調査比修正率・%

	2008年度 (実績)	2009年度(計画)		
		年度	上期	下期
製造業	40.8	40.8 (25.5)	59.2 (1.6)	3.4 (64.0)
素材業種	45.2	32.3 (1.8)	14.9 (0.4)	66.2 (5.6)
加工業種	40.6	41.1 (26.8)	61.0 (1.7)	1.1 (66.2)
非製造業	25.8	5.6 (0.2)	8.1 (5.2)	15.1 (5.5)
建設	11.9	67.5 (22.3)	70.7 (68.1)	61.8 (10.8)
卸・小売	48.2	39.2 (21.0)	61.4 (75.7)	27.9 (2.1倍)
全産業	39.5	37.0 (20.6)	54.6 (2.2)	5.4 (50.9)

生産・営業用設備判断（D.I.）をみると、製造業、非製造業とも「過剰」超幅が縮小。

（生産・営業用設備判断D.I.） （「過剰」 - 「不足」）回答社数の構成比、%ポイント

	08/6月	9月	12月	09/3月	6月	9月	12月 (予測)
製造業	7	15	19	44	44	20 (40)	24
非製造業	13	8	8	11	14	5 (16)	5
全産業	11	11	13	24	26	11 (26)	13

4. 雇用人員判断

雇用人員判断(D.I.)をみると、製造業、非製造業とも「過剰」超幅が縮小。先行きについては、非製造業は横ばい、製造業は「過剰」超幅の拡大を予測。

(判断D.I.) (「過剰」「不足」) 回答社数の構成比、%ポイント

	08/6月	9月	12月	09/3月	6月	9月	12月 (予測)
製造業	19	11	7	44	40	20 (40)	28
非製造業	18	19	13	5	16	9 (21)	9
全産業	19	16	11	21	25	13 (29)	16

5. 企業金融関連判断

企業の資金繰り判断(D.I.、全産業)は、横ばい。金融機関の貸出態度判断(同)は、「厳しい」超幅が拡大。借入金利水準判断(同)は「上昇」超、先行きは「上昇」超幅が拡大の予測。

(判断D.I.) 全産業、回答社数構成比、%ポイント

		08/6月	9月	12月	09/3月	6月	9月	12月 (予測)
資金繰り	「楽」「苦しい」	18	25	28	30	27	27 ()	
金融機関 貸出態度	「緩い」「厳しい」	2	7	8	16	9	12 ()	
借入金利 水準	「上昇」「低下」	22	13	3	17	0	5 (10)	10

以上

本件に関する問い合わせ先
 日本銀行盛岡事務所
 TEL : 019-624-3622 (代)
<http://www3.boj.or.jp/morioka/>